

東京都世田谷区 駒沢こだま保育園

第3回『成長展』

今年度のテーマ「仕事」

第51号 2018年2月19日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

駒沢こだま保育園のご紹介

駒沢こだま保育園は、社会福祉法人呉竹会が運営する施設です。
埼玉県本庄市にある児玉保育園、東京都新宿区にある新宿こだま保育園
で培った「見守る保育」を平成27年4月に開園し、実践しています。

都内特有のコンパクトな空間ながら、園のテーマである「じりつと
協力」が自然に身につくような工夫が、保育環境の随所に取り入れられ
ています。

開園1年目の3月に第1回『成長展』を実施し、
今回第3回目の『成長展』が行われました。

『成長展』とは

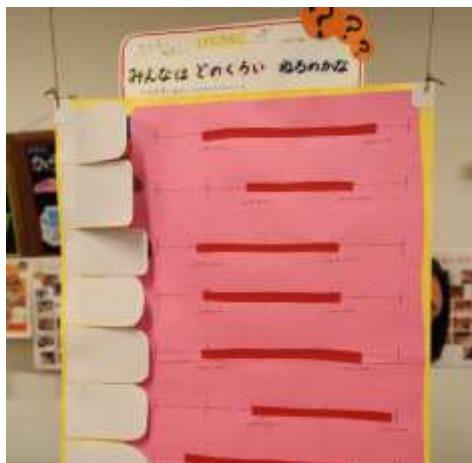
どうして成長展と呼んでいるかというと、1年の間に定期的に描いた
人物画などを段階的に展示したり、健康面での成長を具体的な事物で
表したり、人間関係における発達をお友だち・グループの活動事例で
示したりと、多角的に子どもの成長を可視化したものであるからです。

成長展は、保護者に子どもの成長を多角的に見てもらうのが第一の目的
ですが、保護者に対しては、子どもの何が育っているのか、子どもの成
長のために保護者がどのような環境を作り、子どもの発達を導いていっ
たか、子どもの成長をどうとらえていくのかという「子どもの見方」・
「保育の考え方」を理解してもらう機会としています。

(『見守る保育③保育における「行事」 藤森平司著』p50より)



今年度のテーマは「仕事」。
給与明細書をイメージして作られ、
保護者が成長展を楽しむ資料





現場の先生方へインタビュー

—1回目の成長展を見学させて頂きましたが、今回工夫した点は、
どんなところでしょうか？

去年までの展示は、乳児が1階、幼児は2階と分けていましたが、
保護者の方に子どもたちの発達を見てもらいたいと思って、1階は
全園児の5領域の発達の展示、初の試み動画の上映をしています。

今年のテーマが「仕事」のため、2階に上がる階段には、子どもたちの
なりたい職業を聞いた内容を展示しています。

2階は自由画、シルエット画、人物画を掲示するようにしました。

—自分の子の発達だけでなく、他の子の発達も見erような導線に変えた
んですね。他にはどんなことに力を入れたのでしょうか？

今年は色遊びに力を入れていたこともあり、手形の色は子どもが自分で
選び、お子さんの手はどれかを保護者に当ててもらおうようにしました。

乳児さんは毎月手形・足形を取って、縦に並べると小さかった手も足も
大きく成長していることを見えるようにしました。

もう一つは、1歳児クラスで子どもの顔を使って4ピースパズルを作り
ました。実際に遊んでみたところ、ほとんどの子どもたちが目の部分の
2ピースだけ揃えることができるという面白い発見がありました。
そこで、眼だけで見えるようにしてどの子か分かるかな？クイズを作り
ました。「人の話は目を見て聞くんだよ」ではないですが、子どもはよく
眼を見ているんですね。そんなことが分かりました。

—眼だけで誰か分かるものなんですね！体の部分的なところ突きました
ね。こちらの「だれのと？どんなもちかた？」も。

ピンク、黄色、水色はクラスの色なのですが、最初は手や持ち方に焦点
を当て、紙をめくっていくとどの子が分かるように写真を撮っています。
持ち方もそれぞれですが、少しずつちゃんと握れるように成長して
いっていることが保護者に分かるよう展示しています。



1人の子の手形を縦に並べることで、
手の大きさの成長過程が分かります。



眼だけで誰の顔か分かるかなクイズ！



茶色がランクインしたのは先生方も
以外だったそうです！



子どもたち同士の日々のやり取りの
様子を動画で上映しています。



定期的に就きたい仕事をインタビュー



定期的に書いた自由画 (0, 1 歳)



好きな遊びの変化を掲示！

—動画はどのような内容を流しているのですか？

ぽかぽか組 0,1 歳は「絵本の取り合いの様子」。かえで組 2 歳は「お友達同士で助け合う様子」。すいすい組 3,4,5 歳は「美容室ごっこでのやりとり」の様子です。

本当はもっとたくさん動画があるので流したかったのですが、保護者の方に観てもらいたい内容を厳選しています。

—「成長展」初年度にはなかった取り組みも始まったんですね。

今年のテーマは「仕事」ということですが、どのような取り組みをされてきたのでしょうか？

夏イベントと運動イベントで、アイドルやアナウンサー、役者など子どもたちのなりたい職業を行事に取り入れたり、2 回のイベント後、成長展前に就きたい職業を子どもたちに聞いています。

3 回と就きたい職業が変わっていない子もいれば、SWAT（アメリカの特殊部隊）の運転手という子もいて、保護者を驚かせている子もいました。保育園でいろいろな経験を積むことで、さまざまな興味に繋がったり、就きたい職業が変わっていくので園での体験は大切なことです。

—絵画で工夫したのは、どんなところでしょうか。

これまでシルエット画は 3 歳以上の子たちが行っていたのですが、今年は 2 歳の子たちでもやってみました。理由としては、やってみてはどうだろうかということで始めたのですが、最初はこれ何？と聞くと、単語だけだったのが、後期になるとストーリーになってきているのも分かります。

また、上の子たちも初年度に比べると、ストーリーがどんどん長くなってきたり、想像豊かに話をしてくれています。これも成長を感じるころですね。紙を眺めるところからはじまり、だんだんと線が太くなっていったり、たくさん色を使いはじめたりしています。

—子どもたちの成長が感じられますね。

来年度の『成長展』も楽しみです。今日はありがとうございました。



3,4,5歳のシルエット画



描いている時の様子を解説！

●過去のバックナンバー

第48号

職域別見守る保育セミナー後編

第49号

臥竜塾年間講座⑤

第50号

GTセミナー2017年度総集編

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

『成長展』を観終えて思うこと

駒沢こだま保育園さんの初年度の『成長展』を実はとても楽しみにしていました。これまでもたくさんの園の『成長展』を見学させてもらってきましたが、開園初年度の園ではどのような取り組みがされるのかと思っていました。

当時、石田園長は「無理してやりすぎないこと、徐々に発展させていく」というようなことを仰っていたと記憶しています。

あれから、2年が経ち1年目とはまた異なる新たな挑戦がなされていることに驚きと感動が入り混じりました。

今思えば、1年目には1年目の苦悩や苦労があったかと思います。昨年の『成長展』は残念ながら他の予定と重なってしまい見ることは叶いませんでしたが、写真を見比べたり、先生方から今回の『成長展』のことをお聞きしていると、確実に格段と発展していることを感じます。

今年のテーマは「仕事」ということで、保護者向けに「成長めいさいしょ」なるものをお配りし、子どもの成長を書き込めるように工夫されていました。

この案を発案した先生にお話を伺うと、「自分も給与をもらう時に嬉しさを感じるように、保護者の方に子どもたちの成長を味わってもらいたいと思って、作りました」と仰っていました。

将来、子どもたちがどんな仕事に就くかは分かりませんが、子どもたちに誇れるような仕事をしていきたいと、『成長展』を通じて感じました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。